

# 平成30年度温室効果ガス排出状況

鈴鹿亀山地区広域連合の平成30年度温室効果ガス排出状況は、下記のとおりです。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成25年度(基準)	平成30年度	
電気	7,981 (kw)	6,776.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	4,286.1 (ℓ)	3,161.8 (ℓ)	公用車
走行距離の 普通・小型乗用車 軽乗用車 軽貨物車 小型貨物車	0 (km)	1,929 (km)	
	32,080 (km)	26,083 (km)	
	14,031 (km)	12,914 (km)	
	10,064 (km)	0 (km)	

## 二酸化炭素排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	6,776 (kw)	0.485	3,286.4 (kg-CO <sub>2</sub> )
ガソリン	3,162 (ℓ)	2.32	7,335 (kg-CO <sub>2</sub> )
合計			10,621.4 (kg-CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位: kg-CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
普通・小型乗用車	1,929 (km)	0.00001	0.0193 (kg-CH <sub>4</sub> )
軽乗用車	26,083 (km)	0.00001	0.2608 (kg-CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	12,914 (km)	0.000011	0.1421 (kg-CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	0 (km)	0.000015	0.0000 (kg-CH <sub>4</sub> )
合計			0.4222 (kg-CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.4222 \times \text{地球温暖化係数} \quad 25 = \quad 10.555 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位: kg-N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
普通・小型乗用車	1,929 (km)	0.000029	0.0559 (kg-N <sub>2</sub> O)
軽乗用車	26,083 (km)	0.000022	0.5738 (kg-N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	12,914 (km)	0.000022	0.2841 (kg-N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	0 (km)	0.000026	0.0000 (kg-N <sub>2</sub> O)
合計			0.9138 (kg-N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 0.9138 \times \text{地球温暖化係数} \quad 298 = \quad 272.3124 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$8 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.01 = \quad 0.08 \text{ (kg-HFC)}$$

$$\text{ハイドロフルオロカーボン排出量} \quad 0.080 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,430 = \quad 114.4 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成25年度		平成30年度		対平成25年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	14,373.5	96.2%	10,621.4	96.4%	73.9%
メタン	13.1	0.1%	10.6	0.1%	80.9%
一酸化二窒素	395.6	2.7%	272.3	2.5%	68.8%
ハイドロフルオロカーボン	156.0	1.0%	114.4	1.0%	73.3%
合計	14,938.2		11,018.7		73.8%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成25年度	平成30年度	対平成25年度比
電気	4,429.5	3,286.4	74.2%
ガソリン	9,944	7,335	73.8%
公用車の走行	564.7	397.3	70.4%
合計	14,938.2	11,018.7	73.8%

# 平成29年度温室効果ガス排出状況

鈴鹿亀山地区広域連合の平成29年度温室効果ガス排出状況は、下記のとおりです。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成25年度(基準)	平成29年度	
電気	7,981 (kw)	6,881.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	4,286.1 (ℓ)	2,940.2 (ℓ)	公用車
走行距離の 普通・小型乗用車 軽乗用車 軽貨物車 小型貨物車	0 (km)	1,494 (km)	
	32,080 (km)	25,841 (km)	
	14,031 (km)	11,457 (km)	
	10,064 (km)	0 (km)	

## 二酸化炭素排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	6,881 (kw)	0.485	3,337.3 (kg-CO <sub>2</sub> )
ガソリン	2,940 (ℓ)	2.32	6,821 (kg-CO <sub>2</sub> )
合計			10,158.3 (kg-CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位: kg-CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
普通・小型乗用車	1,494 (km)	0.00001	0.0149 (kg-CH <sub>4</sub> )
軽乗用車	25,841 (km)	0.00001	0.2584 (kg-CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	11,457 (km)	0.000011	0.1260 (kg-CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	0 (km)	0.000015	0.0000 (kg-CH <sub>4</sub> )
合計			0.3993 (kg-CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.3993 \times \text{地球温暖化係数} \quad 25 = \quad 9.9825 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位: kg-N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
普通・小型乗用車	1,494 (km)	0.000029	0.0433 (kg-N <sub>2</sub> O)
軽乗用車	25,841 (km)	0.000022	0.5685 (kg-N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	11,457 (km)	0.000022	0.2521 (kg-N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	0 (km)	0.000026	0.0000 (kg-N <sub>2</sub> O)
合計			0.8639 (kg-N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 0.8639 \times \text{地球温暖化係数} \quad 298 = \quad 257.4422 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$8 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.01 = \quad 0.08 \text{ (kg-HFC)}$$

$$\text{ハイドロフルオロカーボン排出量} \quad 0.080 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,430 = \quad 114.4 \text{ (kg-CO}_2\text{)}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成25年度		平成29年度		対平成25年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	14,373.5	96.2%	10,158.3	96.4%	70.7%
メタン	13.1	0.1%	10.0	0.1%	76.3%
一酸化二窒素	395.6	2.7%	257.4	2.4%	65.1%
ハイドロフルオロカーボン	156.0	1.0%	114.4	1.1%	73.3%
合計	14,938.2		10,540.1		70.6%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位: kg-CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成25年度	平成29年度	対平成25年度比
電気	4,429.5	3,337.3	75.3%
ガソリン	9,944	6,821	68.6%
公用車の走行	564.7	381.8	67.6%
合計	14,938.2	10,540.1	70.6%

# 平成28年度温室効果ガス排出状況

鈴鹿亀山地区広域連合の平成28年度温室効果ガス排出状況は、下記のとおりです。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成28年度	
電気	8,145 (kw)	6,735.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	3,060.4 (ℓ)	公用車
走 公 行 用 車 の 距 離	普通・小型乗用車	0 (km)	2,424 (km)
	軽乗用車	12,340 (km)	30,348 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	8,506 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	0 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位: kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	6,735 (kw)	0.555	3,737.9 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	3,060 (ℓ)	2.32	7,100 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			10,837.9 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位: kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
普通・小型乗用車	2,424 (km)	0.00001	0.0242 (kg CH <sub>4</sub> )
軽乗用車	30,348 (km)	0.00001	0.3035 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	8,506 (km)	0.000011	0.0936 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	0 (km)	0.000015	0.0000 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.4213 (kg CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.4213 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 8.8473 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位: kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
普通・小型乗用車	2,424 (km)	0.000029	0.0703 (kg N <sub>2</sub> O)
軽乗用車	30,348 (km)	0.000022	0.6677 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	8,506 (km)	0.000022	0.1871 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	0 (km)	0.000026	0.0000 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			0.9251 (kg N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 0.9251 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 286.781 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$8 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.12 \text{ (kg HFC)}$$

$$\text{ハイドロフルオロカーボン排出量} \quad 0.120 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 156 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位: kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成28年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	10,837.9	96.0%	79.5%
メタン	12.1	0.1%	8.8	0.1%	72.7%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	286.8	2.5%	81.6%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	156.0	1.4%	114.3%
合計	14,134.6		11,289.5		79.9%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位: kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成28年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	3,737.9	82.7%
ガソリン	9,114	7,100	77.9%
公用車の走行	500.1	451.6	90.3%
合計	14,134.6	11,289.5	79.9%

基準値は、鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」(平成20年12月策定・計画期間平成21年1月～平成25年3月)の値を引き続き使用しています。

# 平成27年度温室効果ガス排出状況

鈴鹿亀山地区広域連合の平成27年度温室効果ガス排出状況は、下記のとおりです。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成27年度	
電気	8,145 (kw)	6,840.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	3,291.6 (ℓ)	公用車
走公用車距離の	普通・小型乗用車	0 (km)	2,721 (km)
	軽乗用車	12,340 (km)	31,379 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	9,881 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	0 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位: kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	6,840 (kw)	0.555	3,796.2 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	3,292 (ℓ)	2.32	7,636 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			11,432.2 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位: kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
普通・小型乗用車	2,721 (km)	0.00001	0.0272 (kg CH <sub>4</sub> )
軽乗用車	31,379 (km)	0.00001	0.3138 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	9,881 (km)	0.000011	0.1087 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	0 (km)	0.000015	0.0000 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.4497 (kg CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.4497 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 9.4437 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位: kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
普通・小型乗用車	2,721 (km)	0.000029	0.0789 (kg N <sub>2</sub> O)
軽乗用車	31,379 (km)	0.000022	0.6903 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	9,881 (km)	0.000022	0.2174 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	0 (km)	0.000026	0.0000 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			0.9866 (kg N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 0.9866 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 305.846 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$8 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.12 \text{ (kg HFC)}$$

$$\text{ハイドロフルオロカーボン排出量} \quad 0.120 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 156 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位: kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成27年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	11,432.2	96.0%	83.8%
メタン	12.1	0.1%	9.4	0.1%	77.7%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	305.8	2.6%	87.0%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	156.0	1.3%	114.3%
合計	14,134.6		11,903.4		84.2%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位: kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成27年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	3,796.2	84.0%
ガソリン	9,114	7,636	83.8%
公用車の走行	500.1	471.3	94.2%
合計	14,134.6	11,903.5	84.2%

基準値は、鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」(平成20年12月策定・計画期間平成21年1月～平成25年3月)の値を引き続き使用しています。

# 平成26年度温室効果ガス排出状況

鈴鹿亀山地区広域連合の平成26年度温室効果ガス排出状況は、下記のとおりです。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成26年度	
電気	8,145 (kw)	7,748.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	3,445.3 (ℓ)	公用車
走行距離の 公 用 車 の 離 の	普通・小型乗用車	0 (km)	1,556 (km)
	軽乗用車	12,340 (km)	31,750 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	14,297 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	225 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,748 (kw)	0.555	4,300.1 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	3,445 (ℓ)	2.32	7,993 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			12,293.1 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
普通・小型乗用車	1,556 (km)	0.00001	0.0156 (kg CH <sub>4</sub> )
軽乗用車	31,750 (km)	0.00001	0.3175 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	14,297 (km)	0.000011	0.1573 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	225 (km)	0.000015	0.0034 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.4938 (kg CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.4938 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 10.3698 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
普通・小型乗用車	1,556 (km)	0.000029	0.0451 (kg N <sub>2</sub> O)
軽乗用車	31,750 (km)	0.000022	0.6985 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	14,297 (km)	0.000022	0.3145 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	225 (km)	0.000026	0.0059 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			1.0640 (kg N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.0640 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 329.84 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$\text{ハイドロフルオロカーボン} \quad 8 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.12 \text{ (kg HFC)}$$

$$\text{排出量} \quad 0.120 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 156 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成26年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	12,293.1	96.1%	90.2%
メタン	12.1	0.1%	10.4	0.1%	86.0%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	329.8	2.6%	93.8%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	156.0	1.2%	114.3%
合計	14,134.6		12,789.3		90.5%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成26年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,300.1	95.1%
ガソリン	9,114	7,993	87.7%
公用車の走行	500.1	496.2	99.2%
合計	14,134.6	12,789.3	90.5%

基準値は、鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」(平成20年12月策定・計画期間平成21年1月～平成25年3月)の値を引き続き使用しています。

# 平成25年度温室効果ガス排出状況

鈴鹿亀山地区広域連合の平成25年度温室効果ガス排出状況は、下記のとおりです。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成25年度	
電気	8,145 (kw)	7,981.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,286.1 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離の	軽乗用車	12,340 (km)	32,080 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	14,031 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,064 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,981 (kw)	0.555	4,429.5 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,286 (ℓ)	2.32	9,944 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			14,373.5 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	32,080 (km)	0.00001	0.3208 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	14,031 (km)	0.000011	0.1543 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,064 (km)	0.000015	0.1510 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.6261 (kg CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.6261 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 13.1481 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	32,080 (km)	0.000022	0.7058 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	14,031 (km)	0.000022	0.3087 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,064 (km)	0.000026	0.2617 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			1.2762 (kg N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.2762 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 395.622 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$8 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.12 \text{ (kg HFC)}$$

$$\text{ハイドロフルオロカーボン排出量} \quad 0.120 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 156 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成25年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	14,373.5	96.2%	105.4%
メタン	12.1	0.1%	13.1	0.1%	108.3%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	395.6	2.7%	112.5%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	156.0	1.0%	114.3%
合計	14,134.6		14,938.2		105.7%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成25年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,429.5	98.0%
ガソリン	9,114	9,944	109.1%
公用車の走行	500.1	564.7	112.9%
合計	14,134.6	14,938.2	105.7%

基準値は、鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」(平成20年12月策定・計画期間平成21年1月～平成25年3月)の値を引き続き使用しています。

# 平成24年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成24年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成24年度	
電気	8,145 (kw)	7,819.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,480.8 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離	軽乗用車	12,340 (km)	34,656 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	14,669 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	11,065 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,819 (kw)	0.555	4,339.5 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,481 (ℓ)	2.32	10,396.0 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			14,735.5 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	34,656 (km)	0.00001	0.3466 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	14,669 (km)	0.000011	0.1614 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	11,065 (km)	0.000015	0.1660 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.6740 (kg CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.6740 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 14.154 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	34,656 (km)	0.000022	0.7624 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	14,669 (km)	0.000022	0.3227 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	11,065 (km)	0.000026	0.2877 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			1.3728 (kg N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.3728 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 425.568 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$\begin{aligned} & 8 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.12 \text{ (kg HFC)} \\ \text{ハイドロフルオロカーボン} & \quad 0.120 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 156 \text{ (kg CO}_2\text{)} \\ \text{排出量} & \end{aligned}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成24年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	14,735.5	96.1%	108.1%
メタン	12.1	0.1%	14.2	0.1%	117.4%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	425.6	2.8%	121.1%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	156.0	1.0%	114.3%
合計	14,134.6		15,331.3		108.5%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成24年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,339.5	96.0%
ガソリン	9,114	10,396	114.1%
公用車の走行	500.1	595.7	119.1%
合計	14,134.6	15,331.2	108.5%

# 平成23年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成23年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成23年度	
電気	8,145 (kw)	7,848.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,543.4 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離	軽乗用車	12,340 (km)	26,567 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	20,029 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,502 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,848 (kw)	0.555	4,355.6 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,543 (ℓ)	2.32	10,541 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			14,896.6 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	26,567 (km)	0.00001	0.2657 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	20,029 (km)	0.000011	0.2203 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,502 (km)	0.000015	0.1575 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.6435 (kg CH <sub>4</sub> )

メタン排出量 0.6435 × 地球温暖化係数 21 = 13.5135 (kg CO<sub>2</sub>)

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	26,567 (km)	0.000022	0.5845 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	20,029 (km)	0.000022	0.4406 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,502 (km)	0.000026	0.2731 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			1.2982 (kg N <sub>2</sub> O)

一酸化二窒素排出量 1.2982 × 地球温暖化係数 310 = 402.442 (kg CO<sub>2</sub>)

## ハイドロフルオロカーボン排出量

7.75 台 × 排出係数 0.015 = 0.116 (kg HFC)  
 ハイドロフルオロカーボン排出量 0.116 × 地球温暖化係数 1,300 = 151.125 (kg CO<sub>2</sub>)

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成23年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	14,896.6	96.3%	109.3%
メタン	12.1	0.1%	13.5	0.1%	111.6%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	402.4	2.6%	114.5%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	151.1	1.0%	110.7%
合計	14,134.6		15,463.6		109.4%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成23年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,355.6	96.4%
ガソリン	9,114	10,541	115.7%
公用車の走行	500.1	567.1	113.4%
合計	14,134.6	15,463.7	109.4%



# 平成22年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成22年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成22年度	
電気	8,145 (kw)	7,996.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,248.9 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離	軽乗用車	12,340 (km)	20,343 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	22,656 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,394 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,996 (kw)	0.555	4,437.8 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,249 (ℓ)	2.32	9,857 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			14,294.8 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	20,343 (km)	0.000010	0.2034 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	22,656 (km)	0.000011	0.2492 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,394 (km)	0.000015	0.1559 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.6085 (kg CH <sub>4</sub> )

メタン排出量 0.6085 × 地球温暖化係数 21 = 12.7785 (kg CO<sub>2</sub>)

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	20,343 (km)	0.000022	0.4475 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	22,656 (km)	0.000022	0.4984 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,394 (km)	0.000026	0.2702 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			1.2161 (kg N <sub>2</sub> O)

一酸化二窒素排出量 1.2161 × 地球温暖化係数 310 = 376.991 (kg CO<sub>2</sub>)

## ハイドロフルオロカーボン排出量

7台 × 排出係数 0.015 = 0.105 (kg HFC)  
 ハイドロフルオロカーボン排出量 0.105 × 地球温暖化係数 1,300 = 136.5 (kg CO<sub>2</sub>)

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成22年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	14,294.8	96.5%	104.8%
メタン	12.1	0.1%	12.8	0.1%	105.8%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	377.0	2.5%	107.3%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	136.5	0.9%	100.0%
合計	14,134.6		14,821.1		104.9%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成22年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,437.8	98.2%
ガソリン	9,114.0	9,857.0	108.2%
公用車の走行	500.1	526.3	105.2%
合計	14,134.6	14,821.1	104.9%

# 平成21年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成21年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成21年度	
電気	8,145 (kw)	7,714.0 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,013.1 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離	軽乗用車	12,340 (km)	18,019 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	21,380 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,683 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,714 (kw)	0.555	4,281.3 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,013 (ℓ)	2.32	9,310 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			13,591.3 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	18,019 (km)	0.00001	0.1802 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	21,380 (km)	0.000011	0.2352 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,683 (km)	0.000015	0.1602 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.5756 (kg CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.5756 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 12.0876 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	18,019 (km)	0.000022	0.3964 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	21,380 (km)	0.000022	0.4704 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,683 (km)	0.000026	0.2778 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			1.1446 (kg N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.1446 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 354.826 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$7 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.105 \text{ (kg HFC)}$$

$$\text{ハイドロフルオロカーボン排出量} \quad 0.105 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 136.5 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成21年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	13,591.3	96.4%	99.7%
メタン	12.1	0.1%	12.1	0.1%	100.0%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	354.8	2.5%	100.9%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	136.5	1.0%	100.0%
合計	14,134.6		14,094.7		99.7%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成21年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,281.3	94.7%
ガソリン	9,114	9,310	102.2%
公用車の走行	500.1	503.4	100.7%
合計	14,134.6	14,094.7	99.7%

# 平成20年度温室効果ガス排出状況

平成20年12月策定の鈴鹿亀山地区広域連合「地球温暖化対策実行計画」に基づき、平成20年度の温室効果ガス排出状況を以下のとおり公表いたします。

## 温室効果ガスが排出換算される主な活動区分ごとの使用量等

活動区分	使用量等(単位)		主な活動施設等
	平成19年度(基準)	平成20年度	
電気	8,145 (kw)	7,775 (kw)	鈴鹿亀山消費生活センター
ガソリン	3,928.3 (ℓ)	4,111.2 (ℓ)	公用車
走行距離の 分離	軽乗用車	12,340 (km)	19,258 (km)
	軽貨物車	25,394 (km)	22,744 (km)
	小型貨物車	11,682 (km)	10,865 (km)

## 二酸化炭素排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	二酸化炭素排出量
電気	7,775 (kw)	0.555	4,315.1 (kg CO <sub>2</sub> )
ガソリン	4,111 (ℓ)	2.32	9,538 (kg CO <sub>2</sub> )
合計			13,853.1 (kg CO <sub>2</sub> )

## メタン排出量

(単位:kg CH<sub>4</sub>)

活動区分	使用量	排出係数	メタン排出量
軽乗用車	19,258 (km)	0.00001	0.1926 (kg CH <sub>4</sub> )
軽貨物車	22,744 (km)	0.000011	0.2502 (kg CH <sub>4</sub> )
小型貨物車	10,865 (km)	0.000015	0.1630 (kg CH <sub>4</sub> )
合計			0.6058 (kg CH <sub>4</sub> )

$$\text{メタン排出量} \quad 0.6058 \times \text{地球温暖化係数} \quad 21 = \quad 12.7218 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## 一酸化二窒素排出量

(単位:kg N<sub>2</sub>O)

活動区分	使用量	排出係数	一酸化二窒素排出量
軽乗用車	19,258 (km)	0.000022	0.4237 (kg N <sub>2</sub> O)
軽貨物車	22,744 (km)	0.000022	0.5004 (kg N <sub>2</sub> O)
小型貨物車	10,865 (km)	0.000026	0.2825 (kg N <sub>2</sub> O)
合計			1.2066 (kg N <sub>2</sub> O)

$$\text{一酸化二窒素排出量} \quad 1.2066 \times \text{地球温暖化係数} \quad 310 = \quad 374.046 \text{ (kg CO}_2\text{)}$$

## ハイドロフルオロカーボン排出量

$$\begin{aligned} & 7 \text{ 台} \times \text{排出係数} \quad 0.015 = \quad 0.105 \text{ (kg HFC)} \\ \text{ハイドロフルオロカーボン} & \quad 0.105 \times \text{地球温暖化係数} \quad 1,300 = \quad 136.5 \text{ (kg CO}_2\text{)} \\ \text{排出量} & \end{aligned}$$

## 温室効果ガス別排出量及び総排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス	平成19年度		平成20年度		対平成19年度比
	年間排出量	排出割合(%)	年間排出量	排出割合(%)	
二酸化炭素	13,634.5	96.4%	13,853.1	96.4%	101.6%
メタン	12.1	0.1%	12.7	0.1%	105.0%
一酸化二窒素	351.5	2.5%	374.0	2.6%	106.4%
ハイドロフルオロカーボン	136.5	1.0%	136.5	0.9%	100.0%
合計	14,134.6		14,376.3		101.7%

## 主な活動区分から算出された温室効果ガス排出量

(単位:kg CO<sub>2</sub>)

活動区分	平成19年度	平成20年度	対平成19年度比
電気	4,520.5	4,315.1	95.5%
ガソリン	9,114	9,538	104.7%
公用車の走行	500.1	523.3	104.6%
合計	14,134.6	14,376.4	101.7%